

製品名: SERPINA3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81395**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	47.7kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINA3
別名	ACT; AACT; GIG24; GIG25
遺伝子 ID	12.0
SwissProt ID	P01011
免疫原	大腸菌で発現したヒト SERPINA3 (AA: 279-432) の精製された組み換え断片。

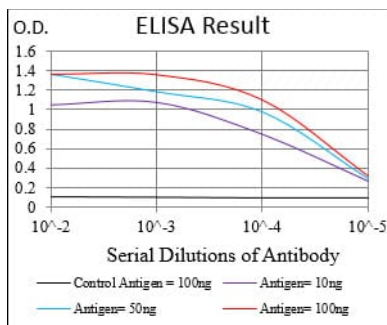
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血漿プロテアーゼ阻害因子であり、セリンプロテアーゼ阻害因子クラスに属します。このタンパク質の多型は組織特異的であり、プロテアーゼの標的化に影響を与えられていると考えられています。このタンパク質の配列

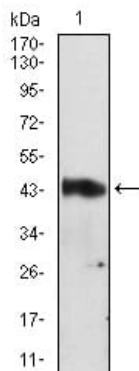
変異はアルツハイマー病との関連が示唆されており、このタンパク質の欠損は肝疾患と関連しています。パーキンソン病および慢性閉塞性肺疾患の患者において変異が同定されています。

研究分野

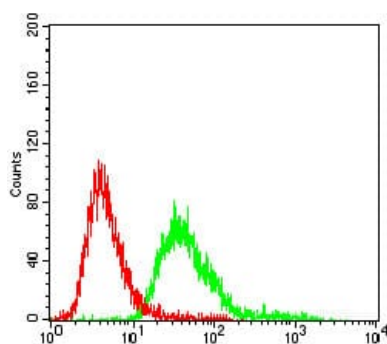
画像データ



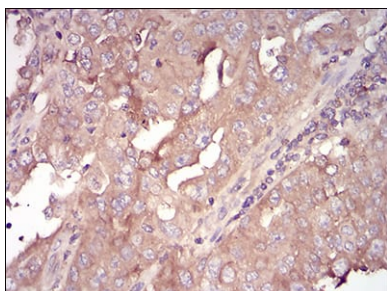
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



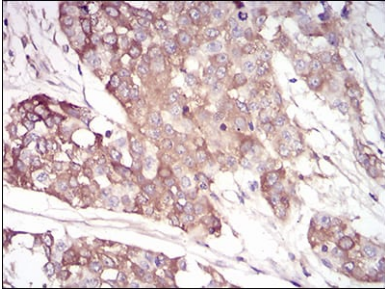
A549 細胞溶解物に対する SERPINA3 マウス mAb を使用したウエスタン ブロット分析。



SERPINA3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



SERPINA3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。



SERPINA3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。